

## マーケットの動き（2022年6月13日～6月17日）

先週の為替市場は、米ドルは対円で上昇（円安）しました。

前週末に発表された米国CPI（消費者物価指数）の結果を受け米国金利が上昇したことから円安が進展しましたが、FOMC（米国連邦公開市場委員会）後に開かれた記者会見でのパウエル議長の発言を受けて持ち高調整の円買い・ドル売が入りました。週末にかけて、日銀の金融政策決定会合で金融緩和政策の維持が決定されたことから、再び円安が進み週を終えました。

ユーロは対円で上昇した一方、対米ドルでは下落しました。

## 投資環境見通し（2022年6月）

## 円に対して、米ドル、ユーロともにレンジ内での動き

**米ドル**：金融市場においてFRB（米国連邦準備制度理事会）による今後の利上げペースに対する織り込みが進み、米国長期金利については景気の先行き懸念から上昇傾向が一服しています。日銀が緩和的な金融政策を継続する姿勢を示すものの、国内長期金利はレンジ内での動きにとどまるとみられることから、日米金利差のさらなる拡大は限定的とみられ、米ドルは円に対して当面はレンジ内での動きになるとみています。

**ユーロ**：域内インフレ率が上昇を続け、景気に対する悪影響が懸念される中、ECB（欧州中央銀行）による利上げ開始に前向きな姿勢がみられています。ECBの金融政策正常化に向けた動きがユーロの支援材料とみられますが、ウクライナ情勢を巡る先行き不透明感もあり、ユーロは円に対して当面はレンジ内での動きになるとみています。

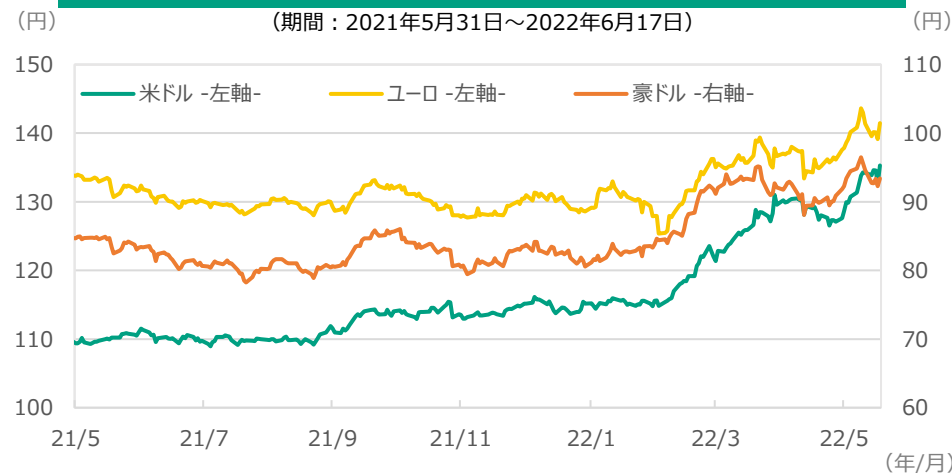
	6月17日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	135.30	1.06	6.03	21.66	25.07
ユーロ/円	141.48	0.13	5.30	13.37	9.85

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

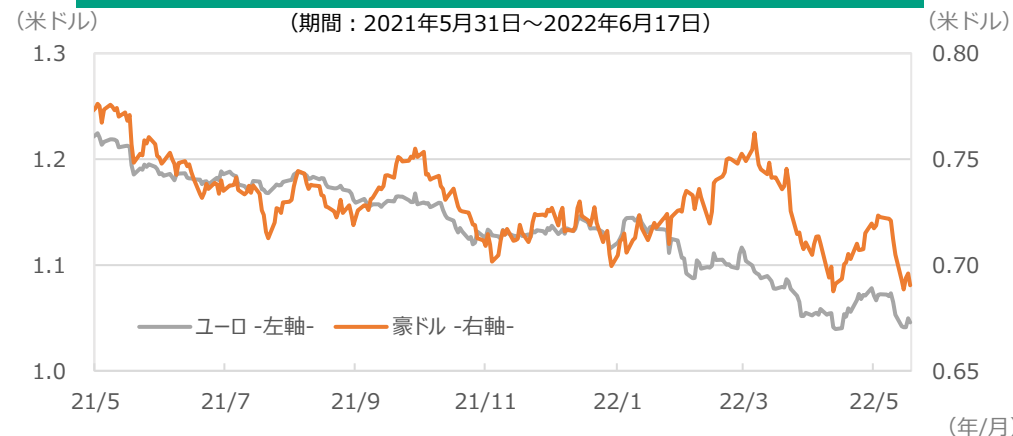
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202206\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202206_outlook.pdf)

## 為替レートの推移（対日本円）



## 為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>